



## 沼津工業高等専門学校創立 60 周年記念寄附事業 趣意書

沼津工業高等専門学校は、2022 年（令和 4 年）に創立 60 周年を迎えました。本校は、1962 年（昭和 37 年）に我が国の産業の発展と工学教育の振興を図るため、中学校の卒業生を受け入れ、5 年間一貫の技術者教育により社会が必要とする技術者を養成する高等教育機関として創設されました。当初は、機械工学科（2 学級）及び電気工学科（1 学級）の 2 学科でしたが、社会の要請に応えるため、学科等の追加設置や改編が行われ、現在の本科課程は、機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、制御情報工学科、物質工学科の 5 学科（各 1 学級）となっています。1996 年（平成 8 年）には 5 年間の本科課程での成果に立脚して高度に専門的な技術者教育を行い、実践力と創造力を兼ね備えた技術者を育成するため、2 年間の専攻科を設置しました。専攻科修了生には、大学改革支援・学位授与機構が示す所定の条件を満たした場合に大学工学部卒業生と同じく学士（工学）が授与されます。この専攻科は当初、本科課程との接続が意識された、機械・電気システム工学専攻、制御・情報システム工学専攻、応用物質工学専攻の 3 専攻でしたが、変化し続ける産業社会と地域社会からの要請に応え、活躍し続けることができる技術者の養成を目的として、2014 年（平成 26 年）に環境エネルギー工学コース、新機能材料工学コース、医療福祉機器開発工学コースの 3 コースからなる 1 つの専攻、総合システム工学専攻に改編されました。本科や専攻科の課程を修めた 1 万 2 千名超の方々が幅広い業種と職種で大いに社会へ貢献する活躍をしていることは、皆様がよくご承知の通りです。

地域との連携・研究の活動においては、創立当初より地域産業での課題解決に資する研究・開発に取り組んでおり、2004 年（平成 16 年）に設置された地域共同テクノセンターを拠点として推進しているところです。この地域共同テクノセンターも 2017 年（平成 29 年）に変わり続ける地域産業界からの要請に柔軟にかつ実効的に応えるべく、地域創生テクノセンターと改称するとともに、センター内に地域のスタートアップ企業等のインキュベーション設備、未来創造ラボラトリーを開設しました。未来創造ラボラトリー入居企業が、専攻科課程の学外実習等での共同教育（CO-OP 教育）に参画することで地域貢献と実践的技術者教育に機能しています。また、静岡県をはじめとする自治体や東京工業大学などの国内外の大学、地域の商工会議所等他機関と協定を締結し、産学官金の連携活動を積極的に進めています。2020 年（令和 2 年）には沼津信用金庫運営のコミュニティプラットフォーム、ぬましん COMPASS 内にサテライトオフィス、N-com を開設し、産学連携活動から学生の課外活動まで多岐にわたる活動での活用を開始したところです。

本校創立 60 周年を機に、教育理念「人がらのよい優秀な技術者となって世の期待にこたえよ」をはじめとする本校の原点に立ち返るとともに、これまでを振り返り、不確定要素が多い社会情勢にあっても幅広い産業でさまざまな形で社会に貢献する技術者を輩出していくことができるよう、心新たにしております。我が国の高等教育機関に学修者本位の教育の実現が求められる中、特に高専には大きな期待が寄せられています。具体的には、(1) Society5.0 を先導し、社会的ニーズに対応した人材を育成するための教育の高度化、(2) “KOSEN”の海外展開と海外で活躍できる技術者育成による国際化の推進、(3) 「ものづくり」を先導する人材育成を支える設備の整備、(4) 高専生の「ものづくり」×「AI」×「課題解決」によるチャレンジを後押しする教育環境の整備とスタートアップ人材の育成の加速が求められています。このような社会からの期待と要請にこたえていくよう、今後、一層活発な教育・研究と地域連携を行う所存です。

このためには、多様な人々が生き生きとキャンパスライフを送り、活躍できるよう環境整備を進めることが必要です。安全・安心に配慮した魅力あるキャンパスにするには本校独自の財源を確保しなければなりません。学生、教職員、地域の皆様が活発に、快適に、そして安心して活動するための教育研究支援と安全設備の充実が喫緊の課題となっています。

つきましては、ぜひとも皆様に上述の趣旨にご賛同いただき、寄附のご支援をいただきたくお願い申し上げます。

寄附は、個人様 1 口 5 千円、法人様 1 口 1 万円で 2 口以上のご支援を賜りたく存じます。寄附金の申込方法により令和 5 年 12 月末日までにお振込ください。2 口以上の寄附をいただいた方には 60 周年記念誌をお贈りする予定です。なお、いただいた寄附金の運用方針は本校にて決定するとともに、実務を担当いたします。

寄附金は本校の活動の改善のために有効活用し、成果を随時本校ウェブサイト等でお知らせしてまいります。地域の皆様、同窓会の皆様をはじめ多くの方から、これからの本校の活動へのご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2022 年 12 月吉日

独立行政法人国立高等専門学校機構  
沼津工業高等専門学校長

沼津工業高等専門学校同窓会長

岡田 哲男

長岡 善章

# 沼津工業高等専門学校創立 60 周年記念寄附金

## 1. 寄附金の目的

沼津工業高等専門学校学生・教職員の教育研究等支援のため

## 2. 寄附金の主な使途と期待する改善

- ・本校の施設（校舎、運動施設、寮等）の改修→より良い学修環境の整備、住環境の改善
- ・実習機器、学校備品等の購入等→教育内容の充実
- ・課外活動用の物品購入、大会参加費補助等→課外活動の充実
- ・防犯・安全設備の購入→学校における安全管理の充実
- ・研究設備等の購入→研究力の強化、研究環境の充実
- ・教員の研究費、学会参加費補助→研究力の向上

※本寄附金は、今後設立する沼津高専基金に繰り入れて運用します。

## 3. 寄附金の目標額

1,000 万円

## 4. 寄附金の額

【個人】 1 口 5,000 円

【法人】 1 口 10,000 円

※口数は任意ですが、2 口以上のご支援を賜りたく存じます。

## 5. 寄附の期間

令和 4 年 1 2 月から令和 5 年 1 2 月

## 6. 申込み方法

「WEB 申込みフォーム」、「振込依頼書によるお振込み」のいずれかの方法でお願いいたします。

「WEB 申込みフォームからのご寄附」

クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-easy（ネットバンキング・金融機関 ATM での決済）がご利用できます。

本校ウェブサイト右上の「本校への寄附」のリンク先の情報でご確認ください。

沼津高専ウェブサイト「創立 60 周年記念寄附金」

<https://www.numazu-ct.ac.jp/giving/>



## 「振込みによるご寄附」

振込みによるご寄附を希望の場合は、専用の「振込依頼書」で指定口座にお振込みください。「振込依頼書」は、電話やメールで下記にご請求ください。

沼津工業高等専門学校総務課財務係

電話 055-926-5723 FAX：055-926-5720

電子メール： zaimu@numazu-ct.ac.jp

※専用の「振込依頼書」以外での振込みは、ご寄附いただいた方の特定が困難となり、所得税等控除に必要な寄附金受領証明書をお届けできなくなります。

## 7. 個人情報の取扱い

ご寄附により取得した個人情報は、本事業にのみ使用し、本校が規則に基づき厳正に管理します。

## 8. 寄附金の税法上の取扱い

この寄附金は、法人の場合、法人税法上の損金算入ができ、個人の場合は、所得税法上の寄附金控除が受けられるものです。確定申告に際して本校発行の寄附金受領証明書が必要となりますので大切に保管願います。

なお、お住まいの都道府県・市区町村が、条例で本校（独立行政法人国立高等専門学校機構）を寄附金控除の対象としている場合、個人住民税も寄附金控除の対象となります。

## 9. ご厚意に対する感謝

ご寄附いただいた方のご芳名、法人名等を「沼津高専創立 60 周年記念寄附金寄附者芳名録」として本校のウェブサイトに掲載し、寄附者をご紹介します（公表を承諾された方のみ）。

## 10. 問い合わせ先

沼津工業高等専門学校 総務課財務係

電話 055-926-5723 FAX：055-926-5720

電子メール： zaimu@numazu-ct.ac.jp



60 周年の節目を迎えるにあたり、デザインを学生及び教職員から募集し「沼津高専ロゴマーク」を制定しました。

### <制作者のコメント>

文字のカラーを 5 学科のカラーにすることでそれぞれの学科が互いに切磋琢磨し高め合う姿を表現しました。沼津の市章はあえて校章で用いられているカラーを変えないことで、現在の高専の良さを維持することを表現しました。また、矢印でこれからの進化に願いを込め、作成しました。